文珍さんの落語的見聞録 ８月＆９月

神戸新聞朝刊連載より転記　2024..10.1...

【　猛暑と五輪、アサガオは・・・】

文化　落語的見聞録　桂文珍

連日猛暑が続き熱中症アラート、南海トラフ大地震注意、株価の乱調、いろいろ悩ましい。そんな中、パリのオリンピックはある種の爽やかさを届けてくれた。メダルの数がいくつ、なんぞは確かにホーとは思うものの、それより選手の皆さんの、そこへ至るまでの努力に感心をする。勝ち負けは結果で、そこまで自分を鍛え上げた姿が素晴らしい。何より、一緒に頑った相手をたたえる姿が美しい。

いろいろな種目の日本選手の活躍を応援しつつ、また惜しいところで負けてしまって、申し訳ないとか、自分を責める言葉を、インタビューの中で語っている選手を見ると、そんな責任感じなくていいよ、あんたは頑張ったんだから、個人の結集だから、これからも楽しみながらスポーツを続けてねと、ついつい、思ってしまう。

猛暑と五輪、アサガオは…

中でも印象に残ったのは、地元兵庫の柔道の阿部兄妹。東京オリンピックでは兄と妹で金メダルというだろう。その後、お兄さん快挙、期待も大きかったが、は見事、金メダル。「妹の妹さんが負けた時、コーチ分も頑張りました！」にまの前で号泣する姿を見て、た、感動した。

大丈夫かな？金メダルとれなくてもいい試合だった、柔道の試合では、「一本」とか「待て」とか、日本の別に国を代表しているわけ言葉が使われる。何となしでもないから責任なんか無に誇らしい気持ちになるのいよ、元気出して前向きに生きてほしいな、と老婆心ながらテレビの前で思っていたら、30分程たった客席の彼女は、オニギリをパクパク食べていた。すごく安心した。これは大丈夫だ、この人は強い、これからもたくましく生きていかれる。

は私だけではないと思う。外国の選手で柔道の試合に勝ち、メダルがもらえると決まり、喜びのあまり、ガッツポーズをした途端、右の肩を脱臼した選手がいた。あんなに試合で強かったのに自分のガッツポーズで脱臼するか…と、申し訳ないが笑ってしまった。

中継を見ていると、パリの五輪は時差があり、熱帯夜もあり、寝不足に、朝方、ついつい二度寝する。

落語「朝顔」では、アサガオの鉢を貰って来たが、朝起きるのが遅いので咲いたのを見たことがない。女房に朝早く起こしてもらい、鉢の前に来ると、咲いていたアサガオがしぼんだ。「これはどうしたことか」、するとアサガオが「あんたが起きたんで、昼かと思いました」。寝不足になるオリンピックと熱帯夜。

（かつら・ぶんちん＝落語家）

＝次回は9月19日＝

【　気になることがいっぱいで　】

文化　落語的見聞録　桂文珍

今年の阪神タイガースは優勝できるのか。去年の今ごろは、41年ぶりの11連勝、破竹の勢いで「アレ」を決めていた。今年は首位とのゲーム差が気になり、いや、クライマックスシリーズがあるから大丈夫、なんぞと、日々思っている。

自民党総裁選に9人も出馬なさって、野球のチームができそうな具合だ。党首（投手）を選ぶ、その投手は外角より内角（内閣）、アウト？　いや、政府（セーフ）なんぞと、酒落ばかりが浮かぶ。岸田内閣は党派閥の政治資金問題で支持率が低迷した。一方、立憲民主党も代表選びにこれまた忙しそうだ。共に次の選挙の顔が要る、ということ

気になることがいっぱいで

なのだろう。アメリカではトランプVSハリスということで、公開討論が行われた。こちらは選挙権も無いのに、やはり、行方が気になる。

落語会や独演会で全国各地にお邪魔をしているが、噺（はなし）のマクラで「今日は私、関西は神戸から参りました。そうです、あの兵庫県からです」と言うだけで客席が沸く。そうなんです、連日、メディアが兵庫県知事の動きを報じるので、すっかり兵庫県が有名に。これから不信任案が可決されれば、どうなっていくのか、注視している。

代表を選ぶというのは、その人に財布を預けるようなもの。しっかり仕事をしてほしいと思うのは私だけではないと思っている。

落語「探偵うどん」では、若者が、走って来た男にぶつかられた時、集金した金の入った財布を盗まれたと深川の交番に届け出る。警察は早速、深川地域に非常線を張る。一方、財布をスッた当人は、逃げる途中に見つけたうどん屋に、着ている衣類と荷を貸して欲しいと言う。実は友達とけんかになって、12、13人が追いかけてくるから、うどん屋になりすましてやり過ごす、という。

うどん屋は断るがスリは強引に衣類をはぎ取り、荷をかついで非常線を抜け出ようとする。後からうどん屋が追い、スリはやれやれ、ここまで逃げれば大丈夫と衣類や荷をうどん屋に返すが実はこのうどん屋が刑事で、スリを逮捕する。スリにしてみると一杯食わされたという噺。

いろいろ気になるこの時期、一杯食わされないよう気を付けよーっと。

（かつら・ぶんちん＝落語家）

＝次回は10月17日＝

酷暑の中で　いろんなことがあった本年の夏を文珍さんも取り上げて

◎8 月の文珍さん　盛り上がったパリ五輪を振り返って　いろんなことが起こった五輪

深夜まで TV にかじりついた夏　勝ちぬいた選手　負けた選手　みんな日本選手の素顔が誇らしいと

落語「朝顔」朝早く咲いて昼にはしぼんでしまう朝顔　朝顔の方も寝ぼけ顔の顔を見て慌ててしぼんでしまったと。

我が家の朝顔にもずいぶん楽しませてもらいました。朝顔が咲き終わって　酷暑の夏も終わりに

◎9 月の話題は何といっても野球と国内政治の混乱　文珍さんも兵庫県知事パワハラ問題を取り上げて…

落語「探偵うどん」　若者から財布をすった男が屋台のうどん屋に逃げて、衣服を借りて店主になりすまし。

非常線を突破したスリ。はやれやれと。でも　このうどん屋が実は刑事で逮捕する

うどん屋に一杯食わされたという話。

夏の朝　ずいぶん楽しませてもらった我が家の朝顔　朝顔が咲き終わって酷暑の夏も終わりに

酷暑の夏、世相・政治の世界は混とん　なかなか中身が見えない　一杯食わされぬようご用心　ご用心。

2024.10.1.　Mutsu Nakanishi　From Kobe